


「逃げる」「凌ぐ」
ための・・・

情報提供の取組み

NHKではデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。

【気象庁】
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
 気象庁では気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。
 (出典: 気象庁ホームページより)



【国土交通省 防災情報提供センター】
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
<携帯サイト>
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>
【国土交通省 XバンドMPLレーダー雨量情報】
<http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html>



視聴方法

- NHK放送画面の時に、リモコンの「d」ボタンを押す。
- TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。


※番組に収録されている郵便番号を参照し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。



【大阪府 洪水リスク表示図】
<http://www.river.pref.osaka.jp/>
 地先における河川氾濫や浸水の可能性を確認できます。



【大阪府都市整備部河川室河川防災情報】
http://www.osaka-kasen-portalnet/suibou/kouzuiyosoku/index_kouzui.htm
 神崎川、安威川の雨量、流域内主要河川の水位状況、洪水予報などを確認できます。



【おおさか防災ネット】
<http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>
 緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。



防災情報を携帯電話で入手できます。
 下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

<p>川の防災情報</p> <p>雨量の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。 http://www.river.go.jp/ 直接アクセスしてください。</p> 	<p>大阪府河川情報</p> <p>身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。 http://www.cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html 直接アクセスしてください。</p> 	<p>防災情報メール</p> <p>地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。 touroku@osaka-bousai.net</p> 
---	--	---

淀川水系神崎川ブロック河川整備計画(変更原案)の詳しい内容について知りたい方は

(1)大阪府都市整備部河川室のホームページに掲載しています。

(アドレス http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/)

(2)以下の場所で資料を備えています。

- ・大阪府府政情報センター(大阪府庁本館1階)
- ・大阪府都市整備部河川室(大阪府庁別館4階)
- ・大阪府安威川ダム建設事務所
- ・大阪府茨木土木事務所(三島府民センタービル)
- ・大阪市東淀川区役所(大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号)
- ・茨木市役所(大阪府茨木市駅前3丁目8番13号本館8階)
- ・吹田市役所(大阪府吹田市泉町1丁目3番40号高層棟6階)
- ・高槻市役所(大阪府高槻市桃園町2番1号本館7階)
- ・摂津市役所(大阪府摂津市三島1丁目1番1号)

閲覧と意見募集期間は、
 9月3日(月)から
 9月14日(金)までです。

ご意見はこちらまで

《郵送・FAXの場合》

〒540-0008
 大阪市中央区大手前3丁目2-12
 大阪府河川室河川整備課計画グループ あて
 TEL 06-6944-9296 FAX 06-6949-3129

《電子メールの場合》

メールアドレス kasen-g23@sbox.pref.osaka.lg.jp

いただいたご意見を踏まえ
 河川整備計画の検討を
 進めてまいります。

淀川水系神崎川ブロック 河川整備計画(変更原案)

をとりとめました。

平成24年11月26日(月)
 平成24年度 第1回
 大阪府河川整備審議会

資料
 3-2



過去の大規模水害(北摂豪雨・昭和42年7月)

被害内容

死傷者61名、田畑冠水約1,500ha、家屋の全半壊41戸、床上・床下浸水約25,000戸、河川堤防決壊12箇所、橋梁被害13橋など「茨木・摂津市の約1/3が浸水」。(市広報より)

茨木川・勝尾寺川合流点付近(茨木市中河原町)

昭和42年7月9日21時30分 決壊
 勝尾寺川左右岸(茨木市中河原地区)
 【昭和42年7月豪雨災害:大阪府】

千歳橋の橋脚破損(茨木市戸伏町)

昭和42年7月9日22時00分 決壊
 安威川左岸(茨木市野々宮地区)
 【昭和42年7月豪雨災害:大阪府】

JR鳥飼基地(摂津市安威川南町)

摂津市鳥飼中

凡例	
X	堤防決壊箇所
O	橋梁被害箇所

河川整備の長期目標

- 【治水】治水安全度を概ね1/10から1/100へ向上
- 【利水】貴重なオープンスペースとしての利用、正常流量の確保
- 【環境】流域の歴史、文化、景観、自然環境を踏まえ地域との連携により特徴を活かした整備

河川整備の目標〔平成34年(2022年)ごろの目標〕

治水	利水	環境
<ul style="list-style-type: none"> ○ブロック全体目標(1/10年) ○神崎川、安威川の目標(1/40年) ○ダムによる早期治水効果発現 ○ため池の有効活用・調節池などの流出抑制対策 	<ul style="list-style-type: none"> ○安威川正常流量の確保 ○都市化の進んだ地域での貴重な水辺空間の創出・利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○山地〜里地〜まち〜都市のそれぞれを流れる河川において各エリアの特徴を活かした整備

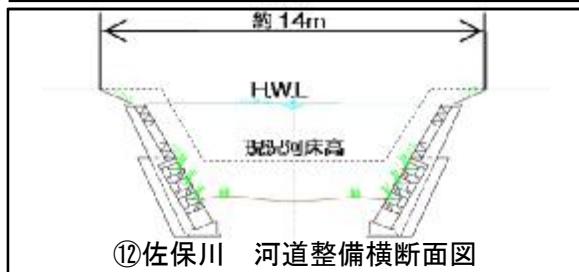
河川整備の取り組み内容

「防ぐ」ための・・・

河川	整備対象区間	整備延長
神崎川	① 猪名川合流点上流〜新三国橋下流(治水整備)	L=2.7km
	② 大豊橋〜神洲橋(耐震補強)	L=0.6km
安威川	③ 茨木市大字生保、安威、大門寺地先(治水整備、環境保全)	安威川ダム
天竺川	④ 神崎川合流点〜広田橋(治水整備、環境整備)	L=4.5km
	⑤ 旭ヶ丘橋上下流(治水整備)	L=0.5km
	⑥ 八坂橋上流(治水整備)	流出抑制施設
高川	⑦ 水路橋下流(老朽化対策)	L=0.5km
	⑧ 寺内橋〜春日西橋上流(治水整備)	L=1.0km
	⑨ 春日西橋上流(治水整備)	流出抑制施設
上の川	⑩ 名神橋上流(治水整備)	流出抑制施設
大正川	⑪ 春日橋上流(治水整備)	流出抑制施設
佐保川	⑫ 福井上橋〜馬場大橋下流(治水整備)	L=2.8km
	⑬ 左支川八日川流域ほか(治水整備)	流出抑制施設



⑦高川 吹田市江坂町 水路橋(すいろきょう)



⑫佐保川 河道整備横断面図

その他の取り組み

維持管理	関係機関との連携	情報提供
<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化した河川管理施設の計画的な更新 ○底質のダイオキシン類に対する浄化対策 ○NPO等との連携による河川清掃や環境整備 ○安威川ダム完成後の追跡調査と自然環境保全対策 	<ul style="list-style-type: none"> ○内水浸水対策の推進 ○地域との協働による川づくり ○維持流量確保、水環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ○超過洪水対策・危険情報(洪水リスク表示図、ハザードマップ等) ○少子、高齢化を踏まえた情報発信の必要性 ○「生活情報としての河川情報」の発信

※淀川水系神崎川ブロック河川整備計画は、平成19年2月に策定しています。(目標や取り組みは、現河川整備計画の中から抜粋)

変更のポイント

平成21年8月に安威川ダムの目的の一つであった『水道用水』の撤退が決定したことによる目的の変更とダムの規模について水道用水分を「残して有効活用」が「無くして規模縮小」等について検討し決定

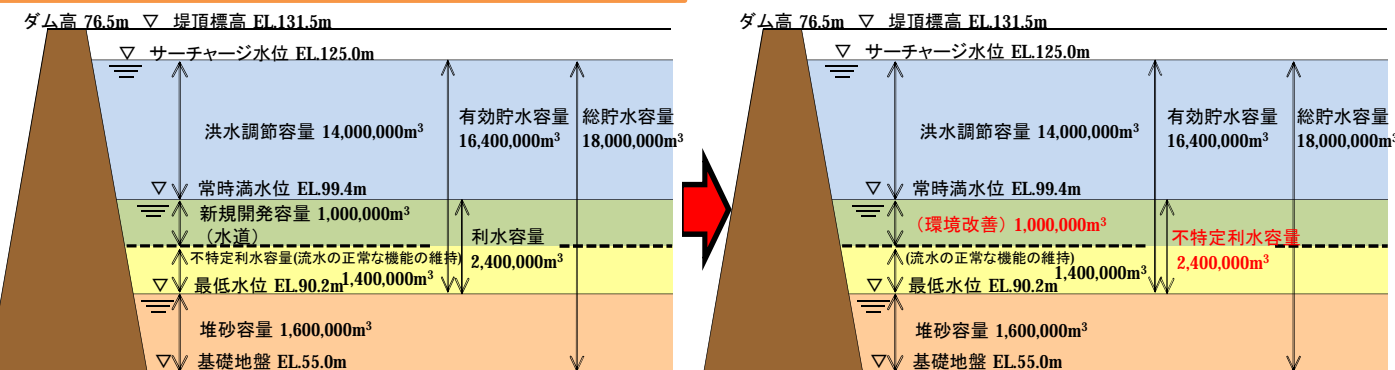
ダム規模を決定するために、現段階においての比較検討を行いました。

ダム規模	①ダム規模現計画案 ダム高76.5m	②ダム規模縮小案 ダム高75.0m	③流水型ダム案 ダム高72.0m
洪水調節容量	1,400万 ³ m	1,400万 ³ m	1,450万 ³ m
不特定利水容量	140万 ³ m	140万 ³ m	140万 ³ m
堆砂容量	160万 ³ m	160万 ³ m	約20万 ³ m
環境改善	100万 ³ m		
ダム諸元	ダム高: 76.5m 湛水位: EL.125.0m 常時満水位: EL.99.4m 湛水面積: 81ha (常時33ha)	ダム高: 75.0m 湛水位: EL.123.7m 常時満水位: EL.96.1m 湛水面積: 78ha (常時28ha)	ダム高: 72.0m 湛水位: EL.120.5m 常時満水位: EL. - m 湛水面積: 70ha (常時 -ha)
完成時期	最も早く完成	・現計画案から約2年遅れ(設計見直し等) ・地域住民との協議期間が必要。 (期間は予測不可)	・現計画案から約2年半遅れ(設計見直し等) ・地域住民・関係者との協議期間が必要 (期間は予測不可)
コスト	・本体工事費、計画変更中の費用 ¹⁾ ■合計 約235.3億円	・本体工事費、計画変更中の費用 ²⁾ ■合計 約235.6億円	・本体工事費、計画変更中の費用 ²⁾ ・転石・流入土砂対策等 ■合計 約239.8億円+α
地震リスク	超巨大地震により堤体崩壊につながるような大きな損傷はないと考えられる		
環境への影響	土砂供給:粗粒化により、底生生物や魚類に影響が及ぶ可能性 正常流量:確保が可能		土砂供給:ダム上流からの供給があるため、貯留型に比べると影響の程度は低減 正常流量:確保できない

- 1) 新規開発(水道)の撤退に伴う河川整備計画の変更等に必要となる費用
- 2) 河川整備計画の変更、本体実施設計の修正、事業期間延伸中の調査等に必要となる費用

コスト、事業スケジュール、実現性、環境への影響等の観点から「縮小案」、「流水型案」に対し、「現計画案」が優位

新規開発(水道)の撤退により、用途を変更します。



ダム上流域の環境への影響も考慮しながら、不特定利水容量(環境改善)を確保することにより、安威川にふさわしいダムからの適切な放流を行い、下流河川の自然環境の保全に努めます。

- 【用語】
- 不特定利水容量(流水の正常な機能の維持)
動植物の生息環境や景観、流水の清潔さを保持するための流量(正常流量)と農業用水のための流量とを合わせて供給するために必要な容量です。安威川ダムでは、10年に一度発生すると考えられる渇水時にも対応できるよう、計画しています。
 - 不特定利水容量(環境改善)
新規開発容量を転用することにより、下流河川の環境改善のための放流に活用します。

ダムの効果

洪水時に治水効果を発揮します。

流水の正常な機能の維持を行います。



安威川の渇水 平成12年 千歳橋上流地点